

# 令和3年 消防活動概要

（ 火災・救急・救助 他 ）

丹 波 市 消 防 本 部

## 目 次

消防活動総括表	1
1 火災の概要	2
(1) 火災状況	3
(2) 地域別火災状況	4
(3) 5年間の火災の推移	5
(4) 月別火災種別状況	5
(5) 曜日別火災状況	6
(6) 時間別火災状況	6
(7) 火災原因状況	7
(8) 火災覚知状況	7
2 救急の概要	8
(1) 事故種別別救急出動状況	9
(2) 5年間の救急出動の推移	9
(3) 地域別救急出動状況	10
(4) 事故種別・救急隊別救急出動状況	10
(5) 月別救急出動状況	11
(6) 曜日別救急出動状況	11
(7) 時間別救急出動状況	11
(8) 事故種別・傷病程度別搬送状況	12
(9) 収容先別搬送状況	12
(10) 年齢別搬送状況	12
(11) 覚知から現場到着までの所要時間	13
(12) 覚知から病院収容までの所要時間	13
(13) 応急（救命）処置状況	14
(14) 心肺停止傷病者発生状況	14
(15) 応急手当の実施状況	14
3 救助の概要	15
(1) 救助出動状況	15
(2) 5年間の救助出動の推移	15
4 その他の災害出動の状況	16
5 応援・受援状況	16
6 緊急通報センター	16
7 聴覚障害者等緊急通報システム	16

# 令和 3 年 消防活動総括表

( 単位: 件 )

区 分	種 別	令和 3 年	令和 2 年	比較増減 (△減少)
火災 件数	総 数	23	30	△ 7
	建物火災	12	11	1
	林野火災	0	3	△ 3
	車両火災	2	4	△ 2
	その他火災	9	12	△ 3
救急出 動件数	総 数	2, 994	2, 930	64
	火 災	3	8	△ 5
	交通事故	225	177	48
	労働災害	44	54	△ 10
	一般負傷	507	485	22
	急 病	1, 875	1, 866	9
	転院搬送	282	303	△ 21
	上記以外	58	37	21
救助出 動件数	総 数	55	58	△ 3
	火 災	0	2	△ 2
	交通事故	24	21	3
	水難事故	0	1	△ 1
	上記以外	31	34	△ 3
出動件数 その他の災害	総 数	209	236	△ 27
	警 戒	25	15	10
	誤 報	35	29	6
	虚 報	0	2	△ 2
	支 援	121	158	△ 37
	その他	28	32	△ 4
受 援 応 援	市外応援	12	4	8
	市内受援	3	10	△ 7

## 1 火災の概要

令和3年中の火災件数は23件(前年比7件減)であった。

発生した火災の種別では、建物火災が12件(前年比1件増)、林野火災0件(前年比3件減)、車両火災が2件(前年比2件減)、枯草などが燃えたその他火災が9件(前年比3件減)であり、令和3年中は前年と比較して、建物火災以外は減少している。

建物火災12件のうち、住宅火災は9件(前年比5件増)で、そのうち4件の住宅には住宅用火災警報器が設置されていなかった。

地域別発生状況は、柏原地域2件(前年比1件減)、氷上地域8件(前年比6件増)、青垣地域1件(前年比5件減)、春日地域6件(前年比2件減)、山南地域2件(前年比3件減)、市島地域4件(前年比2件減)である。

建物の焼損床面積は、613 m<sup>2</sup>(前年比273 m<sup>2</sup>増)で、総損害額は111,820千円(前年比98,364千円増)、焼損棟数は15棟(前年比2棟減)であった。なお、火災による死者はなく(前年比4人減)、負傷者は5人(前年比増減なし)発生している。

火災の発生原因は、焼却火(火入れ含む)が8件、こんろが2件、軸受、たばこ、電気機器、電気溶接機、排気管、配線器具、火あそび、火工品、ローソク、ハロゲンヒーターが各1件、不明が3件となっており、焼却中にその場を離れる」や「残り火の処置が不十分」など人為的な要因が原因で火災に至ったものが大半を占めている。

今後も消防団や関係機関との連携を強化するとともに、火災予防の啓発活動を積極的に行ない、住宅用火災警報器の設置を推進し、市民の防火意識の高揚を図り、火災の発生時には初動体制の確立として、初期消火、避難誘導及び消防機関への通報を徹底するように指導するとともに火災発生との減少と被害の軽減に努めていかなければならない。

## 火災状況(前年との比較)

区 分			年 別	令和 3 年	令和 2 年	比較増減 (△減少)
火災件数	総 数			23	30	△ 7
	建物火災			12	11	1
	林野火災			0	3	△ 3
	車両火災			2	4	△ 2
	その他火災			9	12	△ 3
焼損棟数	総 数			19	17	2
	全 焼			4	3	1
	半 焼			3	0	3
	部 分 焼			4	7	△ 3
	ぼ や			8	7	1
焼損面積	建物床面積 (㎡)			613	340	273
	建物表面積 (㎡)			152	86	66
	林野 (a)			0	3	△ 3
死傷者	死 者			0	4	△ 4
	負 傷 者			5	5	0
り災世帯	総 数			9	6	3
	全 損			2	2	0
	半 損			2	0	2
	小 損			5	4	1
り 災 人 員				25	15	10
損 害 額 (千円)				111,820	13,456	98,364
損害額内訳	建物火災	建 物		66,952	9,030	57,922
		収 容 物		12,113	1,153	10,960
		小 計		79,065	10,183	68,882
	林 野 火 災			0	5	△ 5
	車 両 火 災			96	1,521	△ 1,425
	そ の 他 火 災			32,659	1,747	30,912

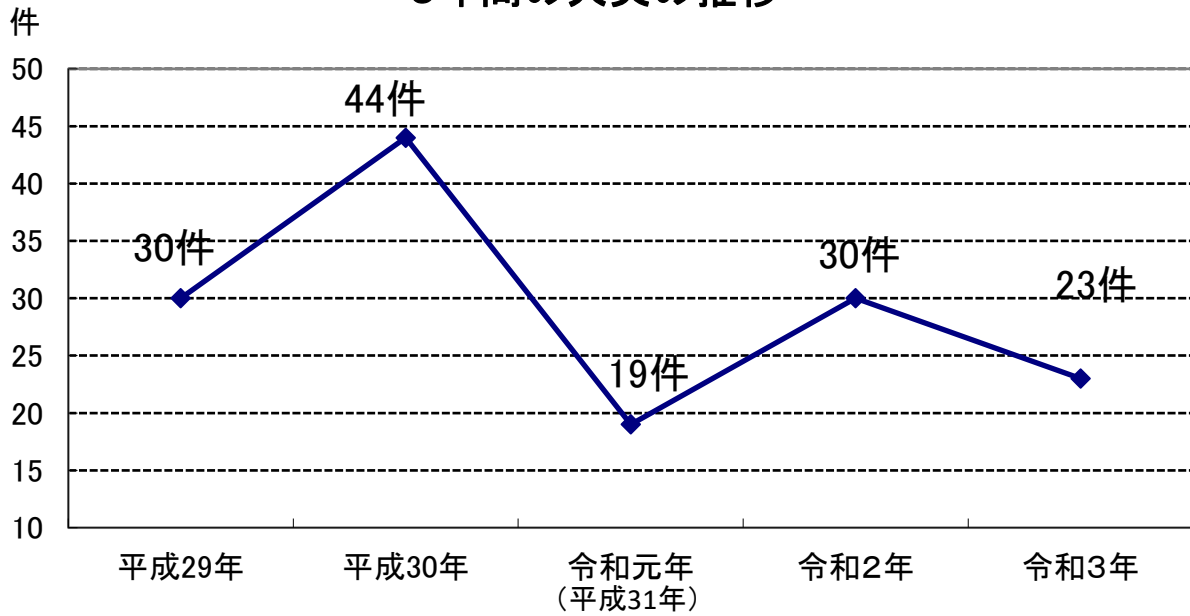
※損害額500円未満を「0」としている

# 地域別火災状況

区分			地域別	総 数	柏 原	氷 上	青 垣	春 日	山 南	市 島
火災件数	総 数		23	2	8	1	6	2	4	
	建物火災		12	1	6	1	2	1	1	
	林野火災		0							
	車両火災		2		1		1			
	その他火災		9	1	1		3	1	3	
焼損棟数	総 数		15	1	9	1	2	1	1	
	全 焼		4		3		1			
	半 焼		2		1				1	
	部 分 焼		2		2					
	ぼ や		7	1	3	1	1	1		
焼損面積	建物床面積（㎡）		613		309		280		24	
	建物表面積（㎡）		152		125		27			
	林野（a）		0							
死傷者	死 者		0							
	負 傷 者		5			1	4			
り災世帯	総 数		9	0	4	1	2	1	1	
	全 損		2		1		1			
	半 損		2		1				1	
	小 損		5		2	1	1	1		
り 災 人 員			25		7	5	11	1	1	
損 害 額（千円）			111,820	1	19,917	9	58,891	32,568	434	
損害額内訳	建 物	建 物	66,952		15,083	4	51,466	19	380	
		収 容 物	12,113	1	4,638	5	7,392	24	53	
		小 計	79,065	1	19,721	9	58,858	43	433	
	林 野		0							
	車 両		96		65		31			
	そ の 他		32,659		131		2	32,525	1	

※損害額500円未満を「0」としている

## 5年間の火災の推移



※ 最少 平成24年 13件      最多 昭和56年 53件

## 月別火災種別状況

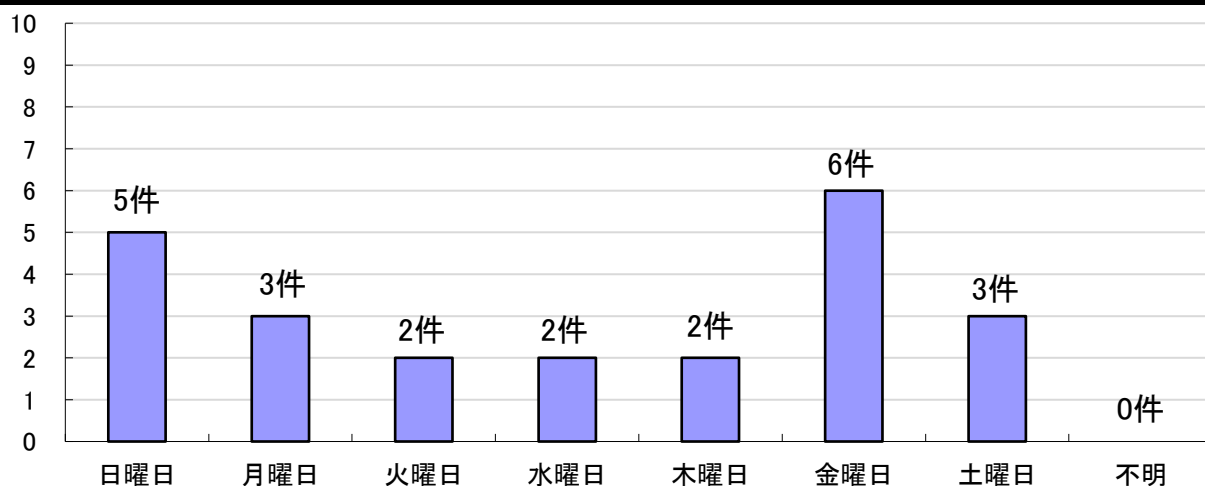
(単位：件)

区 分		総 数	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月
総 数		23	3	7	2	1	1	0	2	1	2	2	1	1
地 域 別	柏 原	2	1	1										
	氷 上	8	2	1		1				1	1	1		1
	青 垣	1		1										
	春 日	6		3	1				1				1	
	山 南	2			1		1							
	市 島	4		1					1		1	1		
火 災 種 別	建 物	12	3	2	1	1			2			1	1	1
	林 野	0												
	車 両	2		1						1				
	その他	9		4	1		1				2	1		

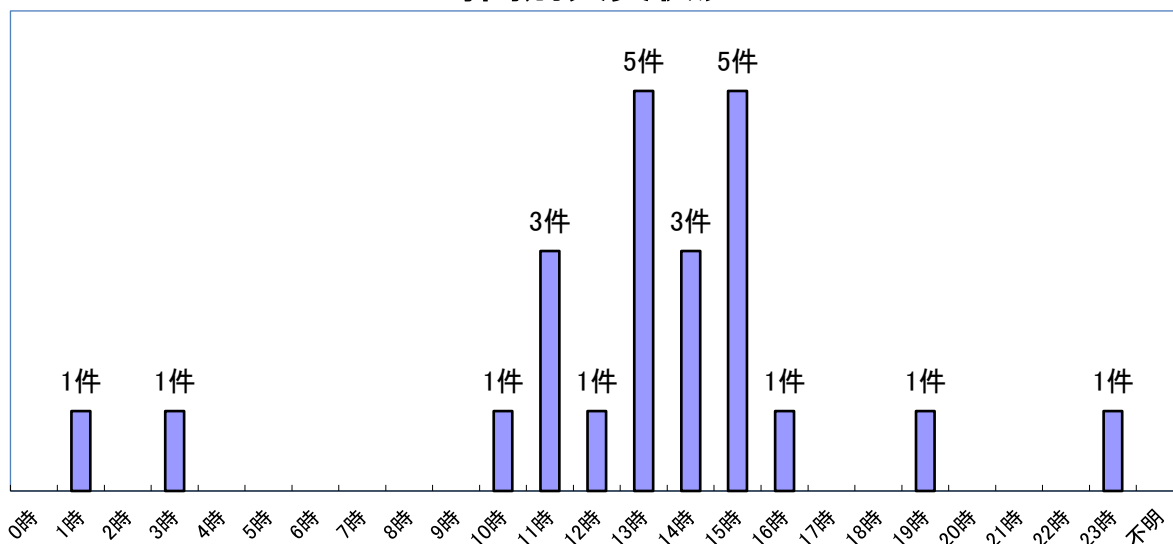
## 曜日別火災状況

(単位：件)

地域別 曜日別	総 数	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	不明
総 数	23	5	3	2	2	2	6	3	0
柏 原	2	1					1		
氷 上	8	2	1	1		1	2	1	
青 垣	1		1						
春 日	6			1	1		2	2	
山 南	2		1				1		
市 島	4	2			1	1			

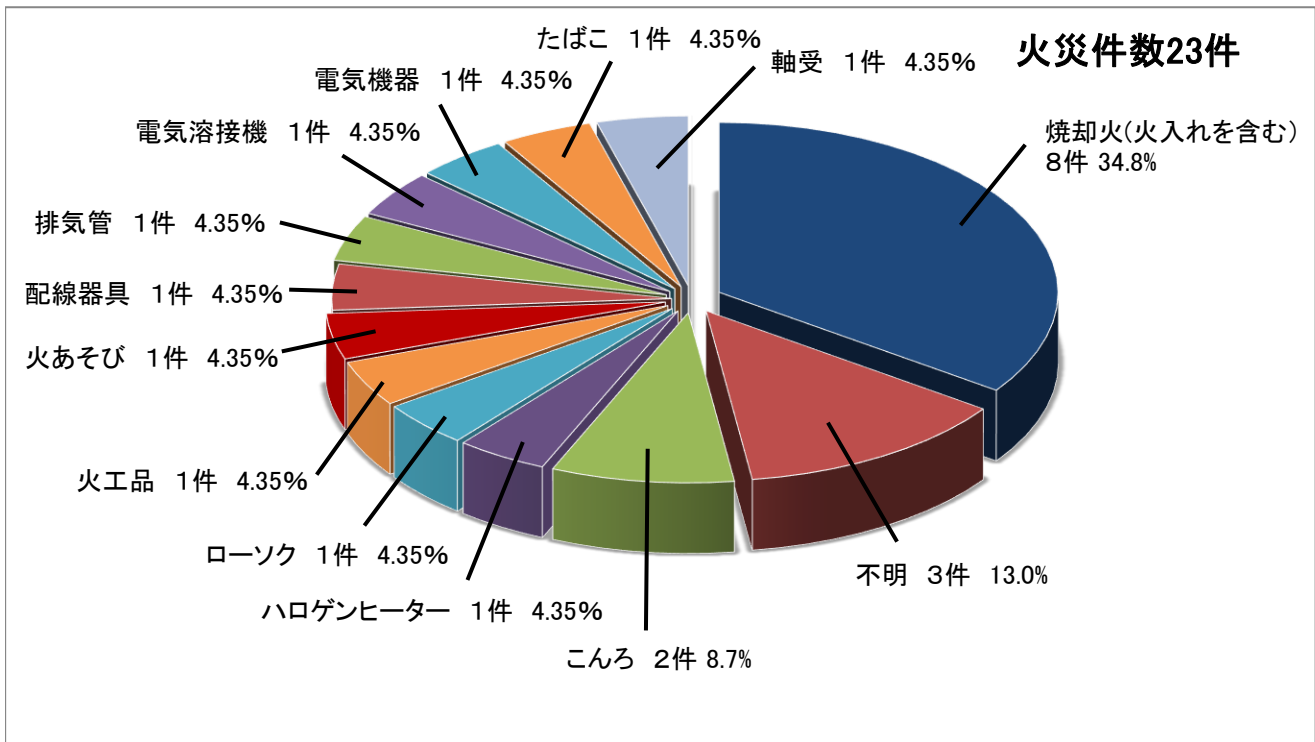


## 時間別火災状況





## 火災原因状況

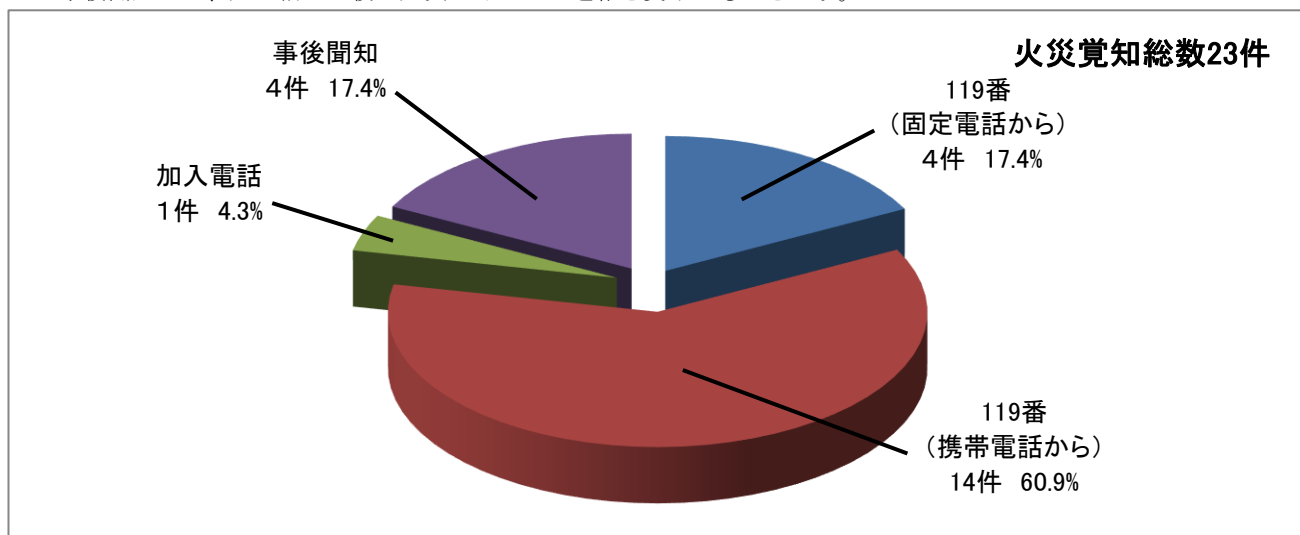


## 火災覚知状況

(単位:件)

覚知別 \ 地域別	総 数	柏 原	氷 上	青 垣	春 日	山 南	市 島
総 数	23	2	8	1	6	2	4
専用電話 (119)	18	1	7	1	3	2	4
携帯119 (内数)	(14)	(1)	(4)	(1)	(3)	(2)	(3)
加入電話	1	1					
警察	0						
駆け付け	0						
事後聞知※	4		1		3		
その他	0						

※ 事後聞知とは、火が消えた後に火災があったと通報を受けたものをいう。



## 2 救急の概要

令和3年中の救急出動件数は2,994件（前年比64件増）、搬送人員は2,858人（前年比42人増）である。

救急出動件数は1日平均すると8.2件で、搬送人員は丹波市民（令和3年12月末日の人口62,411人）の22人に1人が救急車を利用したことになる。

事故種別ごとの救急出動件数では、急病が最も多く1,875件であり、一般負傷（転倒などによるもの）507件、転院搬送（病院等から、より高度な治療を行う病院への搬送）282件、交通事故が225件、その他105件となっている。なお、舞鶴若狭自動車道への救急出動件数は2件、北近畿豊岡自動車道への救急出動件数は13件となっている。

傷病程度別での搬送割合は、死亡2.6%、重症12%、中等症41.4%、軽症44%となっており、搬送人員の内訳を年齢別にみると、65歳以上の高齢者が2,000人（前年2,009人）、成人664人（前年624人）、少年77人（前年71人）、乳幼児112人（前年104人）、新生児5人（前年8人）となっている。

覚知から現場到着までの平均所要時間については10.7分、地域別では、柏原8.4分、氷上9.6分、青垣14.8分、春日11.7分、山南10.1分、市島12.1分である。

搬送先については、丹波市内の医療機関での収容が71.5%、市外の医療機関への搬送は27.5%で、昨年に比べ市内での収容が3.3%増加している。

また、ヘリコプターによる搬送者は29人で、公立豊岡病院ドクターヘリ（公立豊岡病院で運用）による搬送が17人、兵庫県ドクターヘリ（県立加古川医療センター、製鉄記念広畑病院で運用）による搬送が10人、兵庫県消防防災航空隊による搬送が2人となっている。

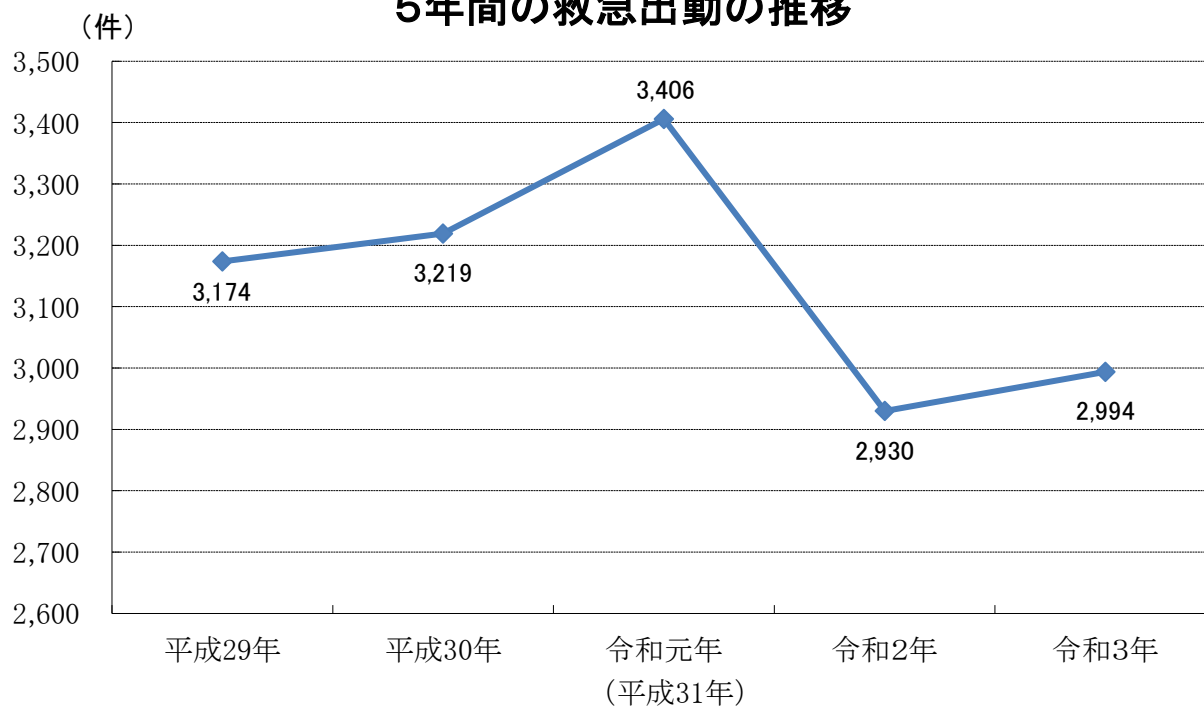
救急隊員が行った止血や酸素吸入等の応急処置等の総件数は13,137件であり、このうち、救急隊現場到着時心肺機能停止状態の傷病者85人に対して、医師の指示のもと救急救命士が蘇生等のために行った救急救命処置は、器具を使った気道確保59件（うち、気管挿管10件）、静脈路確保35件（うち、アドレナリン投与18件）、AEDによる除細動8件を実施している。心肺機能停止状態となった傷病者86人中15人に心拍の再開がみられたが、1ヶ月以上の生存者は3名となっている。なお、救急隊現場到着時、市民等による心肺蘇生が48人に実施されている。

平成28年2月から救急救命士の特定行為処置拡大に伴い、心肺停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液を13件、血糖測定を77件、低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与を4件行っている。

## 事故種別別救急出動状況

事故種別	年別	令和 3 年		令和 2 年		比較増減 (△減少)	
		出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
総 数		2,994	2,858	2,930	2,816	64	42
火 災		3	3	8	3	△ 5	0
自然災害		0	0	0	0	0	0
水難事故		0	0	0	0	0	0
交通事故		225	229	177	174	48	55
労働災害		44	44	54	53	△ 10	△ 9
運動競技		9	9	5	4	4	5
一般負傷		507	490	485	481	22	9
加 害		8	7	7	8	1	△ 1
自損行為		24	14	19	6	5	8
急 病		1,875	1,780	1,866	1,783	9	△ 3
転院搬送		282	282	303	303	△ 21	△ 21
医師搬送		0	0	0	0	0	0
資器材搬送		0	0	0	0	0	0
その他		17	0	6	1	11	△ 1
1日当り平均出動		8.2		8.0			

## 5年間の救急出動の推移



## 地域別救急出動状況

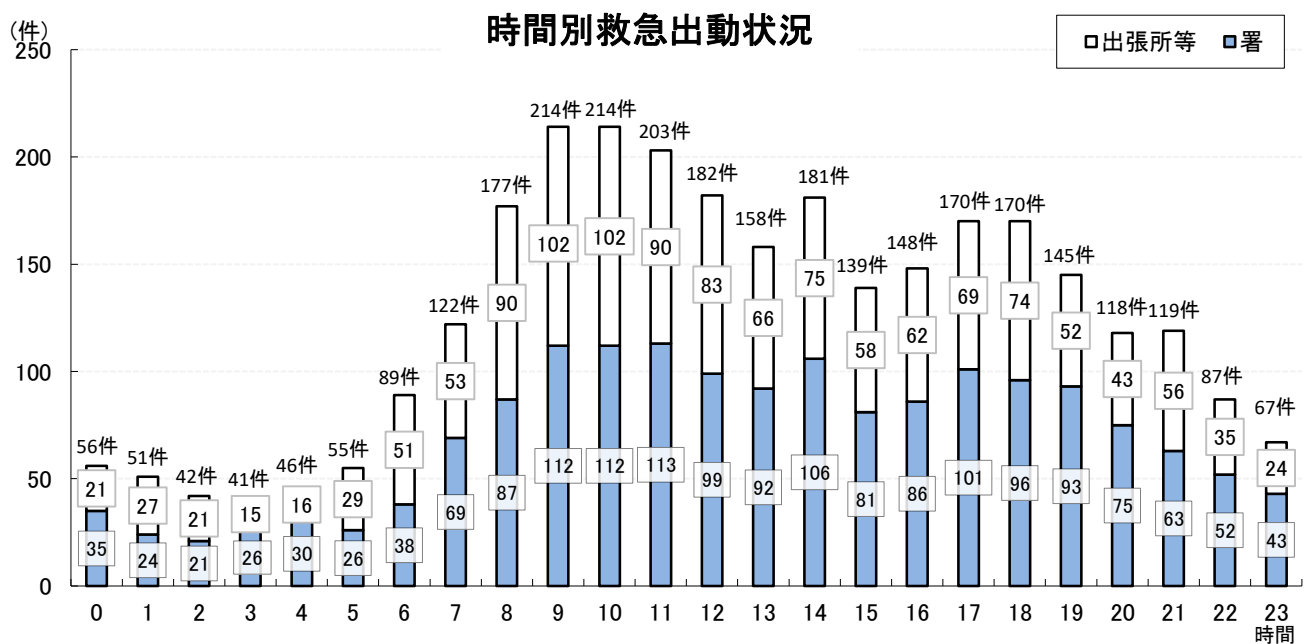
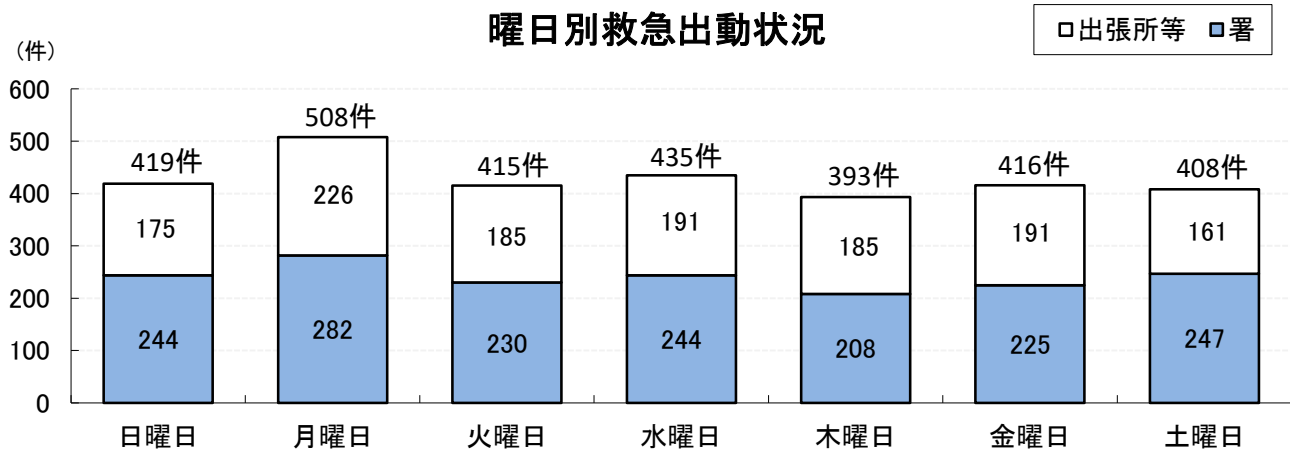
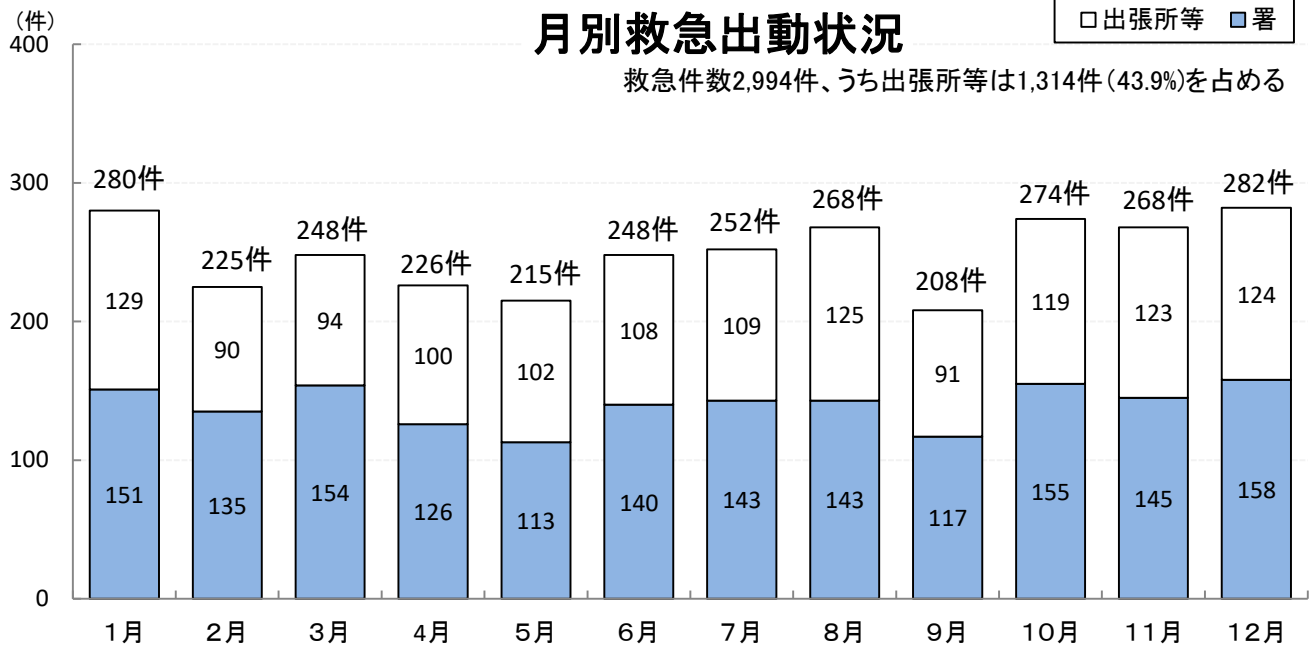
( )内はうち数として駐在隊の件数と地域での割合 (単位:件)

地域別 \ 年 別	令和 3 年	令和 2 年	比較増減 (△:減少)
総 数	2,994 ( 1,314件 43.9%)	2,930 ( 1,287 件 43.9%)	64
柏 原	452 ( 6件 1.3%)	488 ( 9 件 1.8%)	△ 36
氷 上	852 ( 49件 5.7%)	836 ( 57 件 6.8%)	16
青 垣	288 ( 106件 36.8%)	236 ( 89 件 37.7%)	52
春 日	514 ( 351件 68.3%)	506 ( 329 件 65.0%)	8
山 南	498 ( 462件 92.8%)	475 ( 447件 94.1%)	23
市 島	385 ( 338件 87.8%)	387 ( 355 件 91.7%)	△ 2
市 外	5 ( 2件 40%)	2 ( 1 件 50%)	3

## 事故種別・救急隊別救急出動状況

(単位:件)

事故種別 救急隊別		総数	火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	その 他
出動件数		2,994	3	0	0	225	44	9	507	8	24	1,875	282	17
救急隊別	署	1,680	2	0	0	150	19	4	267	7	13	985	222	11
	青垣駐在	143	0	0	0	4	3	0	30	0	1	76	28	1
	山南分駐所	480	0	0	0	29	9	0	75	0	7	350	9	1
	市島駐在	334	0	0	0	18	9	3	75	0	1	207	20	1
	山東出張所	357	1	0	0	24	4	2	60	1	2	257	3	3
不搬送件数 (総数の内数である)		175	2	0	0	25	0	0	23	1	10	97	0	17
搬送人員		2,858	3	0	0	229	44	9	490	7	14	1,780	282	0
救急隊別	署	1,603	3	0	0	153	19	4	258	6	7	931	222	0
	青垣駐在	139	0	0	0	5	3	0	30	0	0	73	28	0
	山南分駐所	466	0	0	0	32	9	0	74	0	6	336	9	0
	市島駐在	321	0	0	0	19	9	3	72	0	0	198	20	0
	山東出張所	329	0	0	0	20	4	2	56	1	1	242	3	0



※出張所等

山南分駐所 24時間体制  
 市島救急駐在所 昼間帯(8時30分から17時15分まで)  
 山東出張所 夜間帯(17時15分から8時30分まで)  
 青垣救急駐在所 月曜から金曜の昼間帯(8時30分から17時15分まで)

## 事故種別・傷病程度別搬送状況

(単位:人)

種別 程度	総数	火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	転院 搬送	その他
総数	2,858	3	0	0	229	44	9	490	7	14	1,780	282	0
死 亡	73				4			10		2	57		
重 症	343	2			14	2		59		1	197	68	
中等症	1,183	1			34	17	1	166	1	5	790	168	
軽 症	1,259				177	25	8	255	6	6	736	46	
その他	0												

死 亡・・・初診時において、死亡が確認されたもの

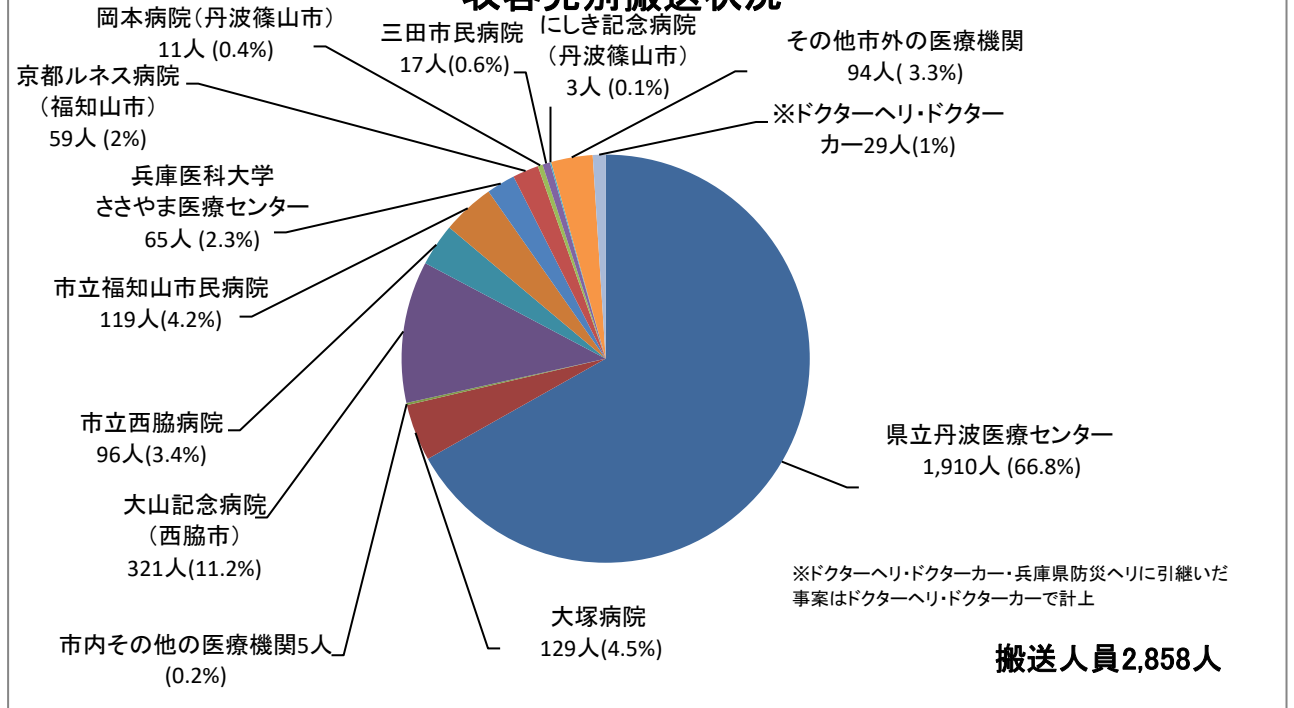
重 症・・・傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの

中等症・・・傷病の程度が入院を必要とするもので重症には至らないもの

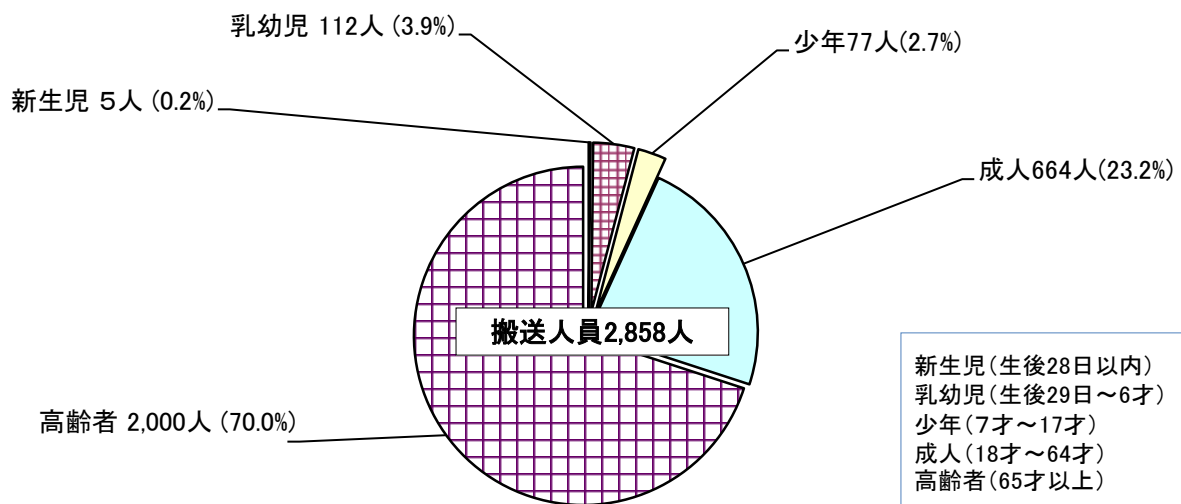
軽 症・・・傷病の程度が入院加療を必要としないもの

その他・・・医師の診断がないもの及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの

## 収容先別搬送状況



## 年齢別搬送状況

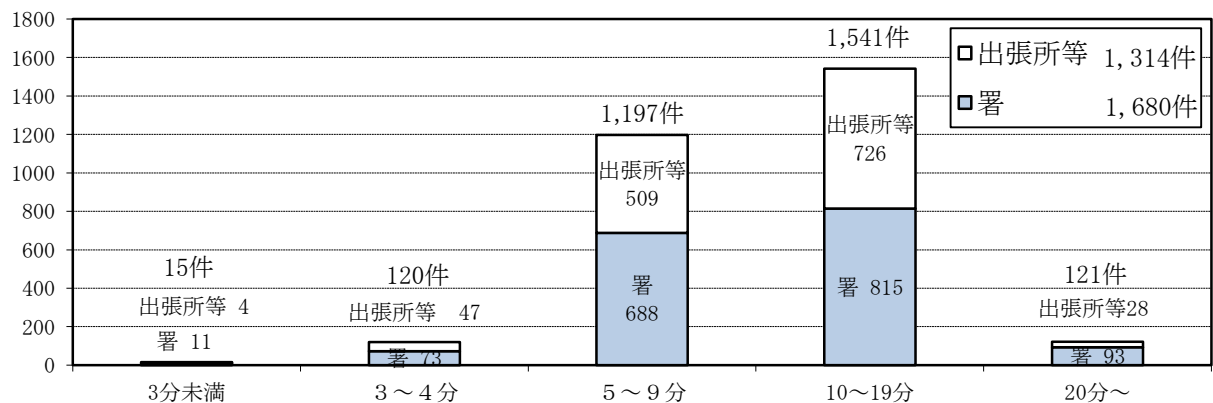


## 覚知から現場到着までの所要時間

(単位:件)

所要時間	総 数	柏 原	氷 上	青 垣	春 日	山 南	市 島	市 外
総 数	2,994	452	852	288	514	498	385	5
現場 まで (分)	3分未満	15	3	8		4		
	3～4分	120	40	33	20	20	7	
	5～9分	1,197	267	413	50	140	210	117
	10～19分	1,541	142	388	157	361	257	233
	20分～	121		10	61	13	7	28
平均(分)	10.7	8.3	9.6	14.8	11.7	10.1	12.1	18.2
最長(分)	37	16	31	33	26	27	37	22
最短(分)	0	1	0	3	5	1	3	12

※現場到着までの所要時間の中には、待機場所以外からの出動又は中継したものを含む。



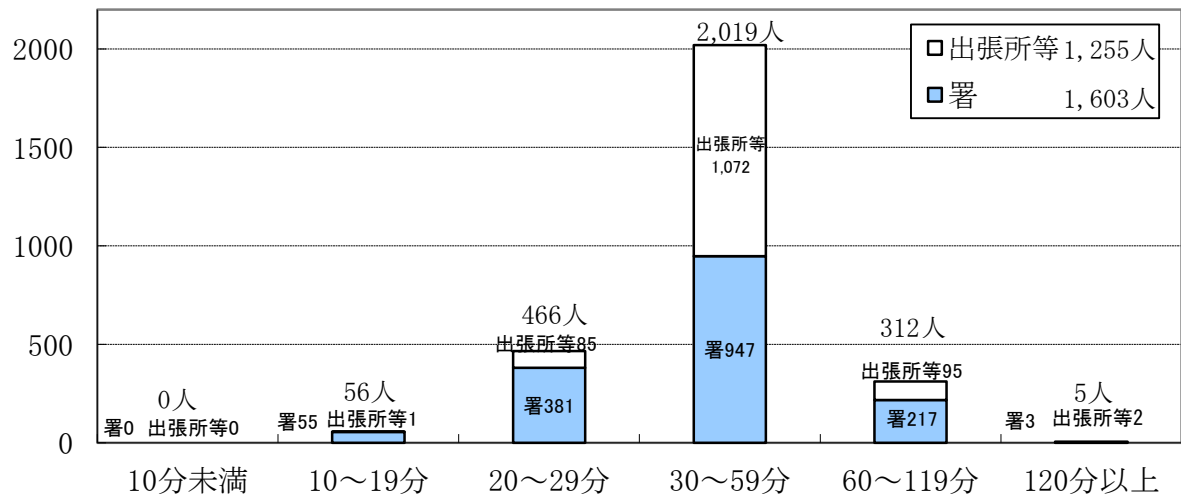
## 覚知から病院収容までの所要時間

(単位:人)

所要時間	総 数	柏 原	氷 上	青 垣	春 日	山 南	市 島	市 外
総 数	2,858	435	828	267	479	479	368	2
病院 まで (分)	10分未満	0						
	10～19分	56	45	10		1		
	20～29分	466	179	193	8	35	51	
	30～59分	2,019	194	494	197	404	401	327
	60～119分	312	16	130	62	38	26	40
	120分以上	5	1	1		2		1
平均(分)	41.9	31.9	41.9	50.4	42.7	41.3	47.4	56.5
最長(分)	161	143	157	120	161	80	138	59
最短(分)	10	10	16	27	22	17	31	54

※不搬送件数175件である。

※ヘリコプターへの引き継ぎ事案は、傷病者をヘリコプターに収容した時間を病院収容時間として計上している。



## 応急(救命)処置状況(医療機関等に搬送するまでに行った処置)

(単位:回)

区分	総数	急病	交通事故	一般負傷	その他
応急処置対象人員	2,858	1,780	229	490	359
止血	56	9	5	35	7
固定	171	3	99	47	22
人工呼吸	0				
胸骨圧迫	0				
(うち、自動式心臓マッサージ器使用)	0				
心肺蘇生	85	61	5	17	2
(うち、自動式心臓マッサージ器使用)	54	45	2	6	1
酸素吸入	666	479	34	49	104
気道確保	101	69	5	19	8
(うち、経鼻エアウェイ使用)	3	3			
(うち、喉頭鏡・鉗子等使用)	6	1		5	
(うち、リネゲアルマスク等による気道確保)	46	40	2	3	1
(うち、気管挿管)	10	4	1	5	
保温	645	421	57	96	71
被覆	146	9	33	84	20
在宅療法継続処置	26	20		5	1
ショックパンツ使用	0				
除細動(AED使用)	8	6	1	1	
静脈路確保(心肺停止状態の輸液)	35	26	1	7	1
うち、アドレナリン投与	18	14	1	3	
静脈路確保(心肺停止前の輸液) ※1	13	11		2	
うち、ブドウ糖溶液投与 ※1	4	4			
血糖測定 ※1	77	75		1	1
エピペン投与	0				
その他の応急処置	2,773	1,725	221	473	354
血圧測定	2,674	1,658	219	459	338
聴診器による心音、呼吸音の観察	812	543	105	72	92
血中酸素飽和度の測定	2,761	1,714	222	471	354
心電図の測定	2,067	1,447	125	250	245
合 計	13,138	8,294	1,133	2,091	1,620

※1 平成28年2月から運用を開始

## 心肺停止傷病者発生状況

(単位:人)

区分	総数	急病	交通事故	一般負傷	その他
心肺停止傷病者数 ※2	85	61	5	17	2
うち、心拍再開 ※3	14	6	1	7	0
覚知から現場到着までの所要時間	0～2分	0 ( )	( )	( )	( )
	3～4分	1 ( )	( )	( )	1 ( )
	5～9分	26 (8)	17 (3)	2 (1)	7 (4)
	10～19分	57 (6)	43 (3)	3 ( )	10 (3)
	20分以上	1 ( )	1 ( )	( )	( )
覚知から現場到着までの平均時間	11.6	11.5	13.0	11.4	11.0
覚知から病院収容までの平均時間	37.6	36.2	47.6	39.4	40.0

※2 救急隊現場到着時、心拍再開していた者を除く

※3 ICU・病棟入院があった者で、外来処置室で死亡した者を含まず

( ) は内数で、心拍の再開を示す。

## 応急手当の実施状況

心肺停止時の状況			AEDの装着	搬 送 者	心拍再開	1ヵ月生存者
目撃あり	一般市民による 目撃あり	バイスタンダーによる 心肺蘇生法なし	( )	11 ( )	2 ( )	( )
		バイスタンダーによる 心肺蘇生法あり	7 (3)	21 (3)	7 (1)	2 (1)
	救急隊・消防隊による 目撃あり			4	2	
目撃なし	バイスタンダーによる 心肺蘇生法なし		( )	23 ( )	2 ( )	1 ( )
	バイスタンダーによる 心肺蘇生法あり		4 ( )	27 ( )	2 ( )	( )
合 計			11 (3)	86 (3)	15 (1)	3 (1)

( ) は内数で、バイスタンダーによる除細動の実施を示す。

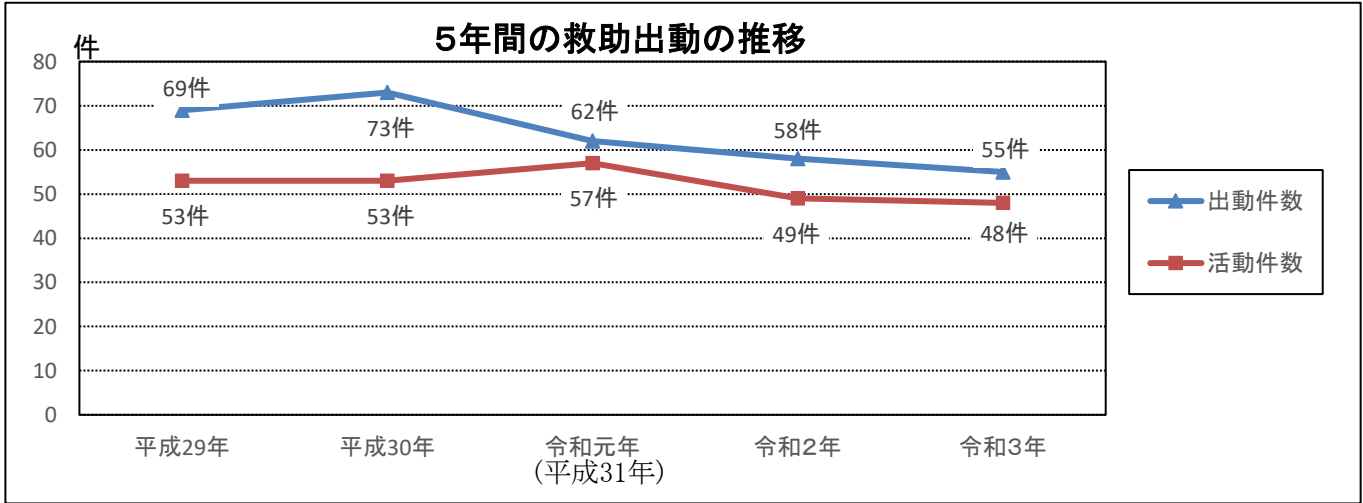


3 救助の概要

令和3年中の救助出動件数は55件(前年比3件減)で、そのうち活動件数は48件(前年比1件減)である。事故種別では、交通事故が24件(前年比3件増)で最も多く全体の43.6%であった。次いで、施錠された建物での救助事案が16件(前年比2件減)で全体の29.1%となっている。機械事故は2件(前年比3件減)であり、ガス酸欠事故は1件(前年比1件増)であった。その他の事故の12件(前年比1件増)のうち、山岳救助が5件を占めている。救助人員については28名(前年比14名減)であった。

救助出動状況 (単位:件)

区 分 \ 事故種別			総数	火災		交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス酸欠	破裂事故	その他	
				建物	車両									
総 数			出動件数	55	0	0	24	0	0	2	16	1	0	12
			活動件数	48	0	0	23	0	0	2	10	1	0	12
地 域 別	柏 原	出動件数	9			5				2			2	
		活動件数	8			5				1			2	
	氷 上	出動件数	15			7			2	3			3	
		活動件数	14			7			2	2			3	
	青 垣	出動件数	5			1				3			1	
		活動件数	4			1				2			1	
	春 日	出動件数	14			5				4	1		4	
		活動件数	12			5				2	1		4	
	山 南	出動件数	4			1				3				
		活動件数	3			1				2				
	市 島	出動件数	5			3				1			1	
		活動件数	4			2				1			1	
	市 外	出動件数	3			2							1	
		活動件数	3			2							1	
救助人員			28			11			1	3	1		12	
搬送人員			20			9			1	3			7	



## 4 その他の災害出動の状況

令和3年中の火災出動、救急出動及び救助出動以外の出動を次のとおり分類している。

(単位:件)

地域別 種別	総 数	柏 原	氷 上	青 垣	春 日	山 南	市 島	市 外
総 数	209	30	61	30	41	22	24	1
警 戒	25	3	9	6	3	2	2	
誤 報	35	4	9	3	13	3	3	
虚 報	0							
支 援	121	18	35	18	25	11	13	1
その他	28	5	8	3		6	6	

『警戒』とは、ガス漏れや油漏れ等で、火災になるおそれがある場合に出動したもの。

『誤報』とは、「火災」「火災かも」という通報で出動したが、実際は火災でなかったもの。

『虚報』とは、「火災」という通報で出動したが、火災に該当する事実がなく、偽りの通報によるもの。

『支援』とは、消防隊が救急活動の支援及びドクターヘリ離着陸支援等を行うために出動したもの。

『その他』とは、悪臭、その他の消防目的をもって出動したもの。

## 5 応援・受援状況

市外への出動隊数と、隣接消防本部等からの受援隊数を次のとおり分類している。

地域別 種別	応援出動隊数							受援隊数
	総 数	丹波篠山市	西脇市	多可町	朝来市	福知山市	隣接外	市 域
総 数	12	9	0	0	0	3	0	3
火 災	0							1
救 急	3	3						2
救 助	6	3				3		
その他	3	3						

## 6 緊急通報センター

緊急通報システムの端末機設置台数は383台(前年比35台減)で、システムによる緊急通報は19件(前年比4件減)で、利用者を15人搬送している。

地域別 通報種別	総 数	柏 原	氷 上	青 垣	春 日	山 南	市 島
緊急通報	19		3	1	8	5	2
緊急外通報等(相談等)	8	1			4	2	1
緊急外通報等(停電・うっかり押し)	72	20	14	8	9	12	9
管理	120	17	14	19	23	28	19
設置台数	383	36	62	42	70	84	89

## 7 聴覚障害者等緊急通報システム

聴覚障害者等緊急通報システム(Net119・FAX)の登録者は28名(Net119:25名・FAX:3名(内2名は同一世帯))で、通報はなかった。





令和 4年 1月作成

丹 波 市 消 防 本 部

TEL 0795-72-2255

FAX 0795-72-1155